

# 官報號外 昭和十八年一月二十九日

## ○第八十一回 貴族院議事速記録第二號

昭和十八年一月二十八日(木曜日)午前十時  
十二分開議

昭和十八年一月二十八日  
午前十時開議

第一 恩給法中改正法律案(政府提出)  
第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
委員ノ選舉  
第一讀會

第三 東北興業株式會社法中改正法律  
案(政府提出)  
第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
委員ノ選舉  
第一讀會

第五 日滿地方稅徵收事務共助法  
案(政府提出)  
第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
委員ノ選舉  
第一讀會

第七 明治四十年法律第二十五號廢止  
法律案(政府提出)  
第一讀會

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
委員ノ選舉  
第一讀會

第九 大正九年法律第五十三號中改正  
法律案(政府提出)  
第一讀會

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
委員ノ選舉  
第一讀會

第十一 國民貯蓄組合法中改正法律案  
(政府提出)  
第一讀會

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
委員ノ選舉  
第一讀會

第十三 納稅施設法案(政府提出)  
別委員ノ選舉  
第一讀會

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
別委員ノ選舉  
第一讀會

第十五 臨時資金調整法中改正法律案  
(政府提出)  
第一讀會

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
別委員ノ選舉  
第一讀會

第十七 普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又  
ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案  
(政府提出)  
第一讀會

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
別委員ノ選舉  
第一讀會

第十九 銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關ス  
ル法律案(政府提出)  
第一讀會

第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
別委員ノ選舉  
第一讀會

第二十一 戰爭死亡傷害保險法案(政  
府提出)  
第一讀會

第三十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
委員ノ選舉  
第一讀會

明治三十五年三月三十日  
第三種郵便物認可

第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
府提出) 第一讀會

第二十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第二十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第二十七 共通法中改正法律案(政府  
提出) 第一讀會

第二十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第二十九 明治三十八年法律第三十八  
號改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
別委員ノ選舉  
第一讀會

第三十一 陸軍軍法會議法及海軍軍法  
會議法中改正法律案(政府提出)  
第一讀會

第三十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第三十三 在滿日本人ノ身分ニ關スル  
滿洲國裁判ノ效力ニ關スル法律案  
(政府提出)  
第一讀會

第三十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第三十五 戰時刑事特別法中改正法律  
案(政府提出)  
第一讀會

第三十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
委員ノ選舉  
第一讀會

第三十七 銅料配給統制法中改正法律  
案(政府提出) 第一讀會

第三十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第三十九 昭和四年法律第九號中改正  
法律案(政府提出) 第一讀會

第四十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第四十一 硫酸アンモニア增產及配給  
統制法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第四十三 商工經濟會法案(政府提出)  
第一讀會

第四十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第四十五 商工組合法案(政府提出)  
第一讀會

第四十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第四十七 商工組合中央金庫法中改正  
法律案(政府提出) 第一讀會

第四十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ  
特別委員ノ選舉  
第一讀會

第四十九 帝國鑄業開發株式會社法中  
改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別  
委員ノ選舉  
第一讀會

第五十一 重要鑄物增產法中改正法律  
案(政府提出) 第一讀會

第五十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ 特別委員ノ選舉	第六十七 北支那開發株式會社法中改 正法律案(政府提出) 第一讀會
第五十三 郵便年金法中改正法律案 (政府提出)	第六十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ 特別委員ノ選舉
第五十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ 特別委員ノ選舉	第五十五 航空法中改正法律案(政府 提出) 第一讀會
第五十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ 特別委員ノ選舉	第五十七 木船保險法案(政府提出) 第一讀會
第五十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ 特別委員ノ選舉	第五十九 自動車交通事業法中改正法 律案(政府提出) 第一讀會
第六十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特 別委員ノ選舉	第六十一 禁事法案(政府提出) 第一讀會
第六十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ 特別委員ノ選舉	第六十三 船員保險法中改正法律案 (政府提出) 第一讀會
第六十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ 特別委員ノ選舉	第六十五 軍事扶助法中改正法律案 (政府提出) 第一讀會
第六十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ 特別委員ノ選舉	○議長(伯爵松平賴壽君) 去ル九日、子爵 阪谷希一君、子爵稻垣長賢君、何レモ子爵議 員補闕選舉ニ當選セラレマシタ、又去ル十四 日、森山銳一君、左近司政三君、田中都吉 君、石黒忠篤君、鮎川義介君何レモ貴族院
	去ル九日海軍省ヨリ陸海軍ニ對スル本 院ノ感謝決議ニ對シ左ノ謝電アリタル旨 通牒ヲ受領セリ
	聯合艦隊司令長官ノ謝電
	帝國議會勞頭院議ヲ以テ陸軍ノ將兵竝ニ 戰歿將士ニ對シ鄭重ナル感謝竝ニ敬弔ノ決 議ヲ辱フシ感激ノ至リニ堪ヘズ茲ニ深厚 ナル謝意ヲ表スルト共ニ將兵一同益々奮 勵聖戰ノ目的完遂ニ邁進シ以テ鉄後ノ御 期待ニ副ハシコトヲ期ス
	南太平洋方面陸軍最高指揮官ノ謝電
	帝國議會勞頭院議ヲ以テ陸軍ノ將兵竝ニ 戰歿將士ニ對シ鄭重ナル感謝竝ニ敬弔ノ決 議ヲ辱フシ感激ノ至リニ堪ヘズ茲ニ深厚 ナル謝意ヲ表スルト共ニ將兵一同益々奮 勵聖戰ノ目的完遂ニ邁進シ以テ鉄後ノ御 期待ニ副ハシコトヲ期ス
	南太平洋方面陸軍最高指揮官ノ謝電
	帝國議會勞頭院議ヲ以テ陸軍ノ將兵竝ニ 戰歿將士ニ對シ鄭重ナル感謝竝ニ敬弔ノ決 議ヲ辱フシ感激ノ至リニ堪ヘズ茲ニ深厚 ナル謝意ヲ表スルト共ニ將兵一同益々奮 勵聖戰ノ目的完遂ニ邁進シ以テ鉄後ノ御 期待ニ副ハシコトヲ期ス
	帝國議會ノ熱誠溢ル、皇軍將兵ニ對スル

感謝竝ニ戰歿將兵ニ對スル敬弔ノ決議ニ

接シ感激ニ堪ヘズ茲ニ東心ヨリ謝意ヲ表ス

支那派遣軍總司令官ノ謝電

第八十一帝國議會勞頭感謝竝ニ敬弔ノ決議ヲ賜ハリ感激ノ至リニ堪ヘズ支那派遣

軍將兵ハ只管聖旨ヲ奉戴シ支那大陸ニアリテ愈々其ノ任務ニ邁進シ以テ曠古ノ

大戰ヲ完遂セシコトヲ期シアリ茲ニ銃後

國民各位ノ熱誠溢ル御後援ニ對シ深甚

ナル謝意ヲ表ス

香港總督ノ謝電

第八十一帝國議會ニ於テ貴院ノ熱誠溢ル

御決議ヲ賜ハリ直ニ隸下將兵ニ傳達セ

リ茲ニ貴院ニ對シ深甚ナル感謝ノ意ヲ表スル御共ニ將來愈々聖戰完遂ニ邁進ゼ

コトヲ期ス

關東軍司令官ノ謝電

今般帝國議會開院勞頭ニ於テ熱誠溢ル、

感謝竝ニ敬弔ノ決議ヲ忝ウシ拘ニ感激ニ堪ヘズ、茲ニ部下一同ヲ代表シ深厚ナル

謝意ヲ表ス、將兵一同大東亞戰第二年ヲ

迎フルニ當リ志氣益々軒昂誓ツテ忠誠ヲ效シ愈々北邊ノ護リヲ堅クシ以テ銃後ノ御期待ニ添ハシコトヲ期ス

「アリューシヤン」方面陸軍指揮官ノ謝電

第八十一帝國議會ニ於テ熱誠溢ル、御決

議ヲ賜リ拘ニ感謝感激ニ堪ヘサル所ナリ

將兵一同愈々志氣旺盛凡有困難ヲ克服シ以テ銃後一億ノ熱誠ニ應ヘンコトヲ期ス

茲ニ將兵ヲ代表シ深甚ナル謝意ヲ表ス

航空軍司令官ノ謝電

第八十一帝國議會開院勞頭院ニ於テハ全員一致ヲ以テ陸軍ノ將兵竝ニ戰歿將士ニ對

シ熱誠溢ル御後援ニ敬弔ノ決議ヲセラ

ル茲ニ深甚ナル謝意ヲ表ス

朝鮮軍司令官ノ謝電

院議ヲ以テ軍ニ寄セラレタル感謝竝ニ敬弔ノ辭ヲ承ハリ誠ニ感謝ニ堪ヘズ將兵一

同愈々粉骨碎身奉公ノ誠ヲ效シ戰力ノ充實ヲ圖リ以テ聖慮ニ應ヘ奉ルト共ニ御期

待ニ副ハシコトヲ期ス茲ニ將兵一同ヲ代表シ深甚ナル謝意ヲ表ス

臺灣軍司令官ノ謝電

御鄭重ナル感謝決議ヲ賜ハリ感激ニ堪ヘズ將兵一同ニ代リ厚ク御禮申上ダ

邁進セシコトヲ期スルト共ニ兩院各位ノ

固ナル團結ヲ以テ一意聖戰ノ目的完遂ニ

在滿日本人ノ身分ニ關スル滿洲國裁判ノ弔意ヲ賜りタルニ付中部軍將兵ヲ代表シ

弔意ヲ賜ニ付中部軍將兵一同愈々鞏

深厚ナル感謝ノ意ヲ表ス將兵一同愈々鞏

固ナル團結ヲ以テ一意聖戰ノ目的完遂ニ

邁進セシコトヲ期スルト共ニ兩院各位ノ

愈々御健勝ナランコトヲ祈ル

西部軍司令官ノ謝電

第八十一回帝國議會開會ニ際シ御懇篤ナ

ル感謝決議ヲ寄セラレ感激ニ堪ヘズ熱誠

溢ル國民ノ後援ニ將兵一同感奮志氣益

益振ヒ國民ノ信賴ニ答ヘシコトヲ期シア

リ茲ニ謹ミテ謝意ヲ表ス

去ル十八日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

恩給法中改正法律案

東北興業株式會社法中改正法律案

日滿地方稅徵收事務共助法案

今般貴院ヨリ銀篤熱誠ナル決議ヲ忝ウシ

憲ニ感謝ニ堪ヘズ茲ニ軍將兵一同ニ代リ深秋御稜威ノ下益々軍民一體ノ實ヲ擧ゲ國土

防衛ノ萬全ヲ期シ御期待ニ副ハシコトヲ

期ス

陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中改正法律案

鹽專賣法中改正法律案

兵役法中改正法律案

明治三十八年法律第三十八號改正法律案

陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中改正法律案

去ル二十一日衆議院ヨリ同院ハ同日ヨリ昨 二十七日マテ休會スル旨ノ通牒ヲ受領セリ	河野 一之君
會計検査院法中改正法律案	南洋廳長官 近藤 駿介君
裁判所構成法中改正法律案	平田敬一郎君
陪審法ノ停止ニ關スル法律案	松田 一隆君
昨二十七日内閣總理大臣ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ	森永貞一郎君
一回帝國議會政府委員仰付ラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ	窪谷 直光君
内閣恩給局長 平木 弘君	農林省所管事務政府委員 濱田 德海君
内閣東北局長 宇都宮孝平君	農林書記官 藤田 嶽君
企畫院部長 柴田彌一郎君	馬政局次長 片桐 茂君
同 梶原 茂嘉君	商工省所管事務政府委員 燃料局部長 山口 真澄君
同 秋永 月三君	同 同 美濃部洋次君
同 柏原兵太郎君	遞信省所管事務政府委員 山口 六平君
情報局情報官 堀 公一君	遞信省電氣技監 森 秀君
同 橋本 政實君	海務院部長 渡邊 浩君
同 佐藤 勝也君	同 同 若林 清作君
同 松村 秀逸君	同 同 中尾國次郎君
同 本多 靜雄君	航空局部長 遠藤 肇君
内務省所管事務政府委員 小林 千秋君	仁村 俊君
同 中島 賢藏君	横川 市平君
内務書記官 久保 文藏君	厚生省所管事務政府委員 木村忠一郎君
大藏省所管事務政府委員 大藏書記官 杉原 武夫君	厚生書記官 菊池 俊郎君
同 日下部 滋君	同 同 俊郎君
大東亞省所管事務政府委員 大藏書記官子爵 池田 忠肅君	軍事保護院書記官 杉山 俊郎君
同 前田 克己君	同 同 俊郎君
同 勇人君	愛知 授一君
○議長(伯爵松平頼壽君) 請暇ノ件ニ付御 諸リヲ致シマス、侯爵鍋島直映君、病氣ニ 付會期中、侯爵徳川義親君、大塚惟精君、 何レモ公務ニ付十七日間、兒玉謙次君、公務 ニ付十四日間、請暇ノ申出ガゴザイマシタ、 許可ヲ致シマシテ御異議ゴザイマセヌカ 〔異議ナシト呼フ者アリ〕	○議長(伯爵松平頼壽君) 請暇ノ件ニ付御 諸リヲ致シマス、宇佐美勝夫君薨去ニ付、第 七部選出請願委員ニ關員ヲ生ジマシタ、就 キマシテハ、第七部ニ於テ其ノ補闕選舉ヲ 行ハレムコトヲ望ミマス
○議長(伯爵松平頼壽君) 先般開院式ニ當 リマシテハ、特ニ優渥ナル 勅語ヲ賜り、誠 ニ恐懼感激ニ堪ヘナ衣次第デゴザイマス、 私ハ諸君ト共ニ、謹ンデ聖旨ヲ奉體シ、全 力ヲ擧ゲテ職責ノ遂行ニ當リ、速カニ戰 争目的ヲ達成シ、以テ聖慮ヲ安ンジ奉ラ ムコトヲ深ク期スルモノデアリマス、 天皇陛下ニ於カセラレマシテハ、去ル十二月十	○議長(伯爵松平頼壽君) 先般開院式ニ當 リマシテハ、特ニ優渥ナル 勅語ヲ賜り、誠 ニ恐懼感激ニ堪ヘナ衣次第デゴザイマス、 私ハ諸君ト共ニ、謹ンデ聖旨ヲ奉體シ、全 力ヲ擧ゲテ職責ノ遂行ニ當リ、速カニ戰 争目的ヲ達成シ、以テ聖慮ヲ安ンジ奉ラ ムコトヲ深ク期スルモノデアリマス、 天皇陛下ニ於カセラレマシテハ、去ル十二月十

タノデアリマス、戦争遂行ノ途上ニ於キマシテ、親シク皇祖大御神ノ大御前ニ御拜アラセラレマシタル御事ハ、全ク有史以來、未ダ曾テ之レアラザル御事ト拜承致シテ居ルノデアリマス、聖慮ノ程ヲ拜察シ奉リ、唯々恐懼感激ニ堪ヘヌ次第デアリマス、我等一億同胞ハ、茲ニ決意ヲ新タニシ、飽く迄モ戰ヒ抜キ、勝チ抜イテ、聖恩ノ萬分ノニ報イ奉ラムコトヲ固ク誓フ次第デアリマス、顧ミルニ大東亞戰爭開始以來、既ニ一年有餘、今ヤ帝國ハ、御稜威ノ下、皇軍將兵ノ善謀勇戰ト、銃後國民ノ總力發揮トニ依リマシテ、世界歴史ニ比類ナキ大戰果ヲ擧ゲ、米英ノ屈服ヲ目指シテ、堂々ノ歩兵ヲ進メツ、アリマスコトハ、誠ニ御同慶ニ堪ヘナニ次第デアリマス、私ハ茲ニ諸君諸君ニ對シ、深甚ナル謝意ヲ表明致シマスルト共ニ、銃後ニ在ツテ、幾多ノ困難ヲ克服シ、一路戰力增强ニ邁進シテ居リマスル全國同胞諸君ニ對シ、深甚ナル謝意ヲ表明スルモノニアリマス、而シテ此ノ機會ニ於キマシテ、私ハ諸君ト共ニ、戰場ノ華ト散ラレマシタル幾多忠勇義烈ノ英靈ニ對シ、謹シ敬弔ノ誠ヲ捧グルト共ニ、戰傷病將士ニ對シ、又御遺族ノ方々ニ對シ、衷心ヨリ御同情申上グル次第デアリマス、現下帝國ハ、世界ニ富強ヲ誇ル米英兩國ヲ併セテ相手ト致シ

スル曠古ノ大戰爭ノ眞只中ニ在ルノデ  
アリマス、申ス迄モナク、萬邦ヲシテ各、其  
所ヲ得シメ、兆民ヲシテ悉ク其ノ堵ニ  
安ンゼシムルハ、帝國建國以來ノ大理想  
デアリマス、帝國ガ三千年來進ンデ參ッタ  
道ハ、此ノ大理想ヲ實現セムトスル努力ニ  
外ナラナカツタノデアリマス、而シテ帝國  
ガ、畏クモ宣戰ノ大詔ヲ奉戴シ、一億ヲ舉  
ゲ、米英撃破ノ一途ニ邁進シツ、アリマス  
ノモ、亦此ノ大理想ヲ實現セムガ爲デアリ  
マス、速カニ大東亞ヲ安定シ、道義ニ基ク  
新秩序ヲ建設シ、帝國ト目的ヲ同ジウスル  
盟邦ト相携ヘテ、世界ノ眞ノ平和ヲ招來セ  
ムトスルコトコソ、大東亞戰爭ノ目的デア  
リマス、之ヲ彼ノ米英ガ、他國ノ犠牲ニ於  
テ、自國ノ繁榮ヲ追求シ、他民族ヲ擰取シ  
テ、世界ヲ龍鬪セムトスル、其ノ傳統ノ野  
望ニ比シマスレバ、全然其ノ本質ヲ異ニス  
ルモノデアリマス、而シテ今ヤ帝國ハ、  
御稜威ノ下、戰爭第一年ニ於テ、早クモ此ノ  
戰爭目的達成ノ足場ヲ固ムルコトガ出來タ  
ノデアリマス、大詔一度降リマスルヤ、  
御稜威ノ下、皇軍ハ、大東亞ニ於ケル米、英、  
蘭ノ兵力ヲ忽チニシテ之ヲ一掃シ、進ン  
デ大東亞ニ於ケル戰略要域ヲ攻略、確保ス  
ルニ至ツタノデアリマス、此ノ戰略的優位  
ハ、今後陸海軍ノ愈、水モ漏ラサヌ協力ノ  
下ニ行レマスル雄渾ナル攻勢作戰ト、之ニ  
呼應スル戰力ノ増強トニ依リマシテ、益々擴  
充強化セラレムトシテ居ルノデアリマス、  
今此ノ戰略的優位ノ現狀ニ付キマシテ、一

例ヲ航空機ニ取ツテ申上ゲマスルニ、陸上ニ  
基地ヲ有スル航空機ノ威力ハ極メテ大ナル  
モノガアルノデアリマス、斯クノ如ク陸上  
航空基地ガ非常ナル威力ヲ發揮スル秋ニ當  
リマシテ、皇軍ハ緒戦ノ赫々タル戰果ニ依  
テ居ルノデアリマス、戰爭遂行上絶對必  
要ナル資源地域ヲ含ム廣大ナル大東亞ノ地  
域ヲ包容スル是等多數ノ航空基地ハ、日一  
日ト増大セラレ、其ノ威力ハ遺憾ナク發揮  
サレツ、アルノデアリマス、今ヤ、占領地  
域ノ要地要點ニハ、是等ノ航空基地ニ加ヘ  
テ、隨所ニ有力ナル作戰據點ガ著々トシテ  
整備セラレ、又要衝要域ニハ、精銳無比ナ  
ス、帝國ガ戰爭第一年ニ於テ必勝ノ基礎ヲ  
確立シ得タト申ス所以ハ、實ニ茲ニ存スル  
ノデアリマス、大東亞戰爭開始前ニ於キマ  
シテ、帝國ハ石油、「ゴム」等ノ重要ナル戰爭  
資源ニ於テ不足スル所ガ少クナカツタノデ  
アリマス、敵米英ハ、我ガ國ヲ持タザル國  
ト侮リ、之ニ乘ジテ我々ノ忘レムトシテ忘  
レ得ザル經濟斷交ヲ敢テシ、以テ帝國ヲ一  
舉ニ屈服セシメムトシタノデアリマス、然  
ルニ至ツタノデアリマス、此ノ戰略的優位  
ハ、聖戰一年後ノ今日、世界最大ノ寶庫、  
南方諸地域ハ、全ク我ガ手ニ確保セラル、  
ニ至ツタノデアリマス、戰前米英ノ利用獨  
占ニ委ネラレテ居マシタル重要資源ハ、  
今ヤ地ヲ換ヘテ、我々ノ掌中ニ歸シタノ

例ヲ航空機ニ取ツテ申上ゲマスルニ、陸上ニ  
基地ヲ有スル航空機ノ威力ヲ發揮スル秋ニ當  
リマシテ、皇軍ハ緒戦ノ赫々タル戰果ニ依  
テ居ルノデアリマス、斯クノ如ク陸上  
航空基地ガ非常ナル威力ヲ發揮スル秋ニ當  
リマシテ、皇軍ハ緒戦ノ赫々タル戰果ニ依  
テ居ルノデアリマス、戰爭遂行上絶對必  
要ナル資源地域ヲ含ム廣大ナル大東亞ノ地  
域ヲ包容スル是等多數ノ航空基地ハ、日一  
日ト増大セラレ、其ノ威力ハ遺憾ナク發揮  
サレツ、アルノデアリマス、今ヤ、占領地  
域ノ要地要點ニハ、是等ノ航空基地ニ加ヘ  
テ、隨所ニ有力ナル作戰據點ガ著々トシテ  
整備セラレ、又要衝要域ニハ、精銳無比ナ  
ス、帝國ガ戰爭第一年ニ於テ必勝ノ基礎ヲ  
確立シ得タト申ス所以ハ、實ニ茲ニ存スル  
ノデアリマス、大東亞戰爭開始前ニ於キマ  
シテ、帝國ハ石油、「ゴム」等ノ重要ナル戰爭  
資源ニ於テ不足スル所ガ少クナカツタノデ  
アリマス、敵米英ハ、我ガ國ヲ持タザル國  
ト侮リ、之ニ乘ジテ我々ノ忘レムトシテ忘  
レ得ザル經濟斷交ヲ敢テシ、以テ帝國ヲ一  
舉ニ屈服セシメムトシタノデアリマス、然  
ルニ至ツタノデアリマス、此ノ戰略的優位  
ハ、聖戰一年後ノ今日、世界最大ノ寶庫、  
南方諸地域ハ、全ク我ガ手ニ確保セラル、  
ニ至ツタノデアリマス、戰前米英ノ利用獨  
占ニ委ネラレテ居マシタル重要資源ハ、  
今ヤ地ヲ換ヘテ、我々ノ掌中ニ歸シタノ

例ヲ航空機ニ取ツテ申上ゲマスルニ、陸上ニ  
基地ヲ有スル航空機ノ威力ヲ發揮スル秋ニ當  
リマシテ、皇軍ハ緒戦ノ赫々タル戰果ニ依  
テ居ルノデアリマス、斯クノ如ク陸上  
航空基地ガ非常ナル威力ヲ發揮スル秋ニ當  
リマシテ、皇軍ハ緒戦ノ赫々タル戰果ニ依  
テ居ルノデアリマス、戰爭遂行上絶對必  
要ナル資源地域ヲ含ム廣大ナル大東亞ノ地  
域ヲ包容スル是等多數ノ航空基地ハ、日一  
日ト増大セラレ、其ノ威力ハ遺憾ナク發揮  
サレツ、アルノデアリマス、今ヤ、占領地  
域ノ要地要點ニハ、是等ノ航空基地ニ加ヘ  
テ、隨所ニ有力ナル作戰據點ガ著々トシテ  
整備セラレ、又要衝要域ニハ、精銳無比ナ  
ス、帝國ガ戰爭第一年ニ於テ必勝ノ基礎ヲ  
確立シ得タト申ス所以ハ、實ニ茲ニ存スル  
ノデアリマス、大東亞戰爭開始前ニ於キマ  
シテ、帝國ハ石油、「ゴム」等ノ重要ナル戰爭  
資源ニ於テ不足スル所ガ少クナカツタノデ  
アリマス、敵米英ハ、我ガ國ヲ持タザル國  
ト侮リ、之ニ乘ジテ我々ノ忘レムトシテ忘  
レ得ザル經濟斷交ヲ敢テシ、以テ帝國ヲ一  
舉ニ屈服セシメムトシタノデアリマス、然  
ルニ至ツタノデアリマス、此ノ戰略的優位  
ハ、聖戰一年後ノ今日、世界最大ノ寶庫、  
南方諸地域ハ、全ク我ガ手ニ確保セラル、  
ニ至ツタノデアリマス、戰前米英ノ利用獨  
占ニ委ネラレテ居マシタル重要資源ハ、  
今ヤ地ヲ換ヘテ、我々ノ掌中ニ歸シタノ

約スル等、何等ノ價値ナキ宣言ヲ行フニ至リマシタルコトハ、誠ニ笑止ニ堪ヘナイ所デアリマス、「タイ」國ハ「ピブン」首相ノ逞シキ統率ノ下ニ、學國一體、帝國トノ攻守同盟ノ誓ヒ愈々固ク、敢然トシテ米英撃摧ノ協同作戦ニ從事シ、有ラユル困難ト有ラユル障碍トヲ克服シツ、新シキ大東亞建設ノ共同目的達成ニ眞剣ナル努力ヲ傾注シ以テ眞ニ帝國同志國タルノ實ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、翻ツテ歐洲方面ニ於キマシテハ、獨伊兩國ヲ始メ我ガ盟邦諸國ハ、帝國トノ結束愈々固ク、各種ノ困難ヲ排除シテ、世界ヲ驚倒ゼンムル大戰力ヲ隨所ニ遺憾ナク發揮致シテ居ルノデアリマス、而モ今日迄ニ築キ上ダラレタル確乎不敗ノ地歩ヲ擴充シテ愈々有利ナル攻勢ヲ展開セムトシテ居ルノデアリマス、彼ノ北阿方面ニ於ケル事態ノ如キハ、戰爭ノ長キ過程ニ於ケル一波瀾ニ過ギザルモノデアリマシテ、何等大勢ニ影響ヲ齎スモノデハナノアリマス、否寧ロ此ノ新事態コソノ米英軍ニ徹底的痛撃ヲ加フベキ絶好ノ機會ノ到来ヲ意味スルモノデアリマス、其ノ好機ヲ逸スルコトナク、獨伊兩國ハ愈々其ノ猛威ヲ振フト共ニ、帝國トノ協同作戦ニ益シテ整備シツ、アルノデアリマス、斯クテ我ガ戰友タル東西ノ盟邦諸國ハ、年ト共ニ愈々其ノ親密ノ度ヲ加ヘ、共同ノ勝利獲得ト、又共同ノ理想達成トニ向シテ、互ニ全ク己ヲ捨テ、水漏ラサヌ協力ノ實ヲ擧ゲテ居ルノ

デアリマス、之ニ反シ米英ハ、或ハ自己ノ利害關係ノ爲ニ、或ハ戰後ノ問題ニ關シ、戰爭ハ既ニ回復シ、帝國不動ノ大方針ニ呼應シ、ノ真只中ニ於テ早クモ醜イ争ラ暴露シテ居ルノデアリマス、此ノ一事ハ以テ、彼我正邪ノ岐ル、所ヲ示シ、而シテ終局ノ勝利ガ何レ、我ガ盟邦諸國ハ、帝國トノ結束愈々固ク、各種ノ側ニ歸スルカラ自ラ明カニ物語ッテ居ルノコトト確信スルモノデアリマス、私ハ茲ニ盟邦諸國ノ華々シキ活躍ノ跡ヲ偲ビ、其ノ輝カシキ前途ニ思ラ致シ、諸君ト共ニ、今日迄ノ是等盟邦諸國ノ偉大ナル成果ニ深甚ナル敬意ト祝意トヲ表スルモノデアリマス、更ニ私ハ、是等盟邦諸國ノ帝國ニ寄セラレタル絶大ナル協力ヲ感謝致シマスルト共ニ、今後ノ健闘ト成功トヲ心カラ祈ツテ已マナリマス、帝國ハ遲クモ本年中ニハ、現在行政ノ努力ハ帝國ノ感銘ニ堪ヘナイ所デアリマス、帝國ハ遲クモ本年中ニハ、現在行政ノ帝國ニ寄セラレタラ、是等盟邦諸國ノ帝國ノ中外ニ宣示シテ管轄セシメツ、アル區域ヲ以テ、「ビルマ」國ノ建設ヲ認ヌムトシテ居ルノデアリマス、曩ニ本議場ニ於テ、帝國ノ中外ニ宣明致シマシタル「ビルマ」人多年ノ念願タル「ビルマ」ノ獨立ハ、早クモ茲ニ實現セムトシテ居ルノデアリマス、此ノ事ヲ本議場ニ於テ聲明シ得マスルコトハ、帝國ノ誠ニ本懐トスル所デアリマシテ、「ビルマ」ノ爲、又、新シキ大東亞ノ爲、眞ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス、私ハ昨年本議場ニ於キマシテ「フイリップン」ノ民衆ニシテ、帝國ノ眞意ヲ了解セザル者ニ對シマシテハ、眞ニ之ヲ親子ノ情ヲ以テ遇スル者デアリマス、「マライ」「スマト」アリマスルガ、一度我ガ治下ニ入り來レル者ニ對シマシテハ、徹底的ニ之ヲ膺憲スル者デスルコトト、誠ニ御同慶ノ至リデアリマス、又、新シキ大東亞ノ爲、眞ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス、私ハ昨年本議場ニ於キマシテ「フイリップン」ノ民衆ニシテ、帝國ノ眞意ヲ了解シ、大東亞共榮圈建設ノ一翼トシテ協力シ來ル場合ニ於テハ、帝國ハ欣然トシテ彼等ニ獨立ノ榮譽ヲ與ヘムコトヲ聲明シタノデアリマスガ、茲ニ私ハ、重ねテ之ヲ宣明スルモノデアリマス、今ヤ「フイリップン」ニ於キマシテハ、新シキ指導者「バルガス」長官ノ下ニ、帝國ニ對スル協力ノ誠意大イニ見ルベキモノガアリ、

スルコトヲ重ネテ宣明スルモノデアリマス、又治安ノ回復モ、逐次、向上シツ、アリマス、斯コトハ、誠ニ賴モシキ限リデアリマス、私ハ「フイリップン」ガ更ニ積極的ナル協力ヲ重打倒ノ大義名分ノ明カトナレル今日、今尙

ネ、斯クシテ「フイリップン」ノ獨立ガ、成ルベク速カナル時機ニ於テ實現セムコトヲ、衷心ヨリ期待スルモノデアリマス、此ノ「ビルマ」及「フイリップン」ノ希望ニ満チタル現状ヲ、「ビルマ」ニ隣スル「インド」ノ苦シミ喘グ状況ト、之ヲ比較致シマスルトキ、轉タ感慨無量ナルモノガアルノデアリマス、マシキ努力ヲ續ケテ居ルノデアリマス、其ノ努力ハ帝國ノ感銘ニ堪ヘナイ所デアリマス、帝國ハ遲クモ本年中ニハ、現在行政ノ帝國ニ寄セラレタラ、是等盟邦諸國ノ帝國ノ中外ニ宣示シテ管轄セシメツ、アル區域ヲ以テ、「ビルマ」國ノ建設ヲ認ヌムトシテ居ルノデアリマス、曩ニ本議場ニ於テ、帝國ノ中外ニ宣明致シマシタル「ビルマ」人多年ノ念願タル「ビルマ」ノ獨立ハ、早クモ茲ニ實現セムトシテ居ルノデアリマス、此ノ事ヲ本議場ニ於テ聲明シ得マスルコトハ、帝國ノ誠ニ本懐トスル所デアリマシテ、「ビルマ」ノ爲、又、新シキ大東亞ノ爲、眞ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス、私ハ昨年本議場ニ於キマシテ「フイリップン」ノ民衆ニシテ、帝國ノ眞意ヲ了解セザル者ニ對シマシテハ、眞ニ之ヲ親子ノ情ヲ以テ遇スル者デアリマス、「マライ」「スマト」アリマスルガ、一度我ガ治下ニ入り來レル者ニ對シマシテハ、徹底的ニ之ヲ膺憲スル者デスルコトト、誠ニ御同慶ノ至リデアリマス、又、新シキ大東亞ノ爲、眞ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス、私ハ昨年本議場ニ於キマシテ「フイリップン」ノ民衆ニシテ、帝國ハ欣然トシテ彼等ニ獨立ノ榮譽ヲ與ヘムコトヲ聲明シタノデアリマスガ、茲ニ私ハ、重ねテ之ヲ宣明スルモノデアリマス、今ヤ「フイリップン」ニ於キマシテハ、新シキ指導者「バルガス」長官ノ下ニ、帝國ニ對スル協力ノ誠意大イニ見ルベキモノガアリ、内ニ於テ、又其ノ國外ニ於テ、產ミノ苦シミヲ爲シツ、アル「インド」ノ指導者及民衆ニ對シ、深甚ナル同情ノ意ヲ表シマスルト共ニ、其ノ回天ノ大事業ノ遠カラズ成就シキ「インド」ノ建設ノ爲ニ、「インド」國ド」ノ一部人士ハ、帝國ト協力シテ現ニ戰ヒニ從事シテ居ルノデアリマス、帝國ハ新ス、而シテ既ニ帝國ノ眞意ヲ知レル「インド」ノデアリマス、更ニ米英軍ハ、「インド」テ居ルノデアリマス、今ヤ皇軍ハ是等ノ米英軍ニ對シ猛撃ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、而シテ既ニ帝國ノ眞意ヲ知レル「インド」ノデアリマス、又、新シキ大東亞ノ爲、眞ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス、私ハ昨年本議場ニ於キマシテ「フイリップン」ノ民衆ニシテ、帝國ハ欣然トシテ彼等ニ獨立ノ榮譽ヲ與ヘムコトヲ聲明シタノデアリマスガ、茲ニ私ハ、重ねテ之ヲ宣明スルモノデアリマス、今ヤ「フイリップン」ニ於キマシテハ、新シキ指導者「バルガス」長官ノ下ニ、帝國ニ對スル協力ノ誠意大イニ見ルベキモノガアリ、

自ラノ手ヲ以テ其ノ同胞ヲ害シ、無益ノ抗戦ヲ續ケツ、アル重慶政權ノ如キハ、誠ニ支那民衆ノ敵デアリ、中華民國ノ傳統ニ對スル叛逆者デアリマス、帝國ハ之ニ對シ斷々乎トシテ膺懲ノ鐵槌ヲ加ヘムトスルモノデアルコトヲ、重ネテ宣明スルモノデアリマス、濠洲ニ對スル帝國ノ熊度亦重慶ニ對スルト全ク同様デアリマシテ、米英依存ノ迷夢ヨリ醒メザル以上、帝國ガ之ニ痛擊ヲ加ヘマスルコトモ亦已ムヲ得ザル所デアリマス、今ヤ帝國ハ雄渾ナル構想ノ下ニ、世界ノ運命ヲ決スル大戰爭ヲ戰ッテ居ルノデアリマス、從ツテ今後ノ施策ハ、此ノ大戰爭ニ勝ツト云フコトニ總テヲ集注スルモノデアリマス、戰ヒニ勝タムガ爲ニ、前線ニ於テハ、果敢ナル武力戰ヲ愈、強力ニ續行シテ、後ニ於テハ、作戰ノ要求ニ即應シテ、愈、敵ノ戰爭能力ヲ喪失セシメナケレバナラナイノデアリマス、戰ヒニ勝タムガ爲ニ、銃砲等ノ一黠ニ集注シナケレバナラヌノデアリマス、抑、戰力増強ニ關スル政府ノ指導精神ハ、一億同胞ノ盛り上ガル力ヲ遺憾ナク發揮セシムルニ在ルノデアリマス、由來我々日本國民ハ、皇室ヲ中心トシテ、舉國內施策ハ、舉ゲテ勝タムガ爲ノ此ノ戰力增强ノ一點ニ集注シナケレバナラヌノデアリマス、抑、戰力増強ニ關スル政府ノ指導精神ハ、一億同胞ノ盛り上ガル力ヲ遺憾ナ一致、只管ニ、天皇陛下ノ御爲ニハ、身ヲ鴻毛ノ輕キニ置キ、一旦緩急アレバ義勇公ニ奉ズルノ、世界ニ比類ナキ傳統ヲ有シテ居ルノデアリマス、況ヤ皇國ノ興廢ヲ決ス

ル此ノ大戰爭下ニ於キマシテハ、前線銃後  
ヲ問ハズ、一億同胞ハ唯々盡忠報國以テ  
聖恩ノ萬分ノニ報イ奉ラムトノ誠意ニ燃エ  
テ居ルノデアリマス、私ハ此ノ國民ノ燃エ  
上ル力ニ信賴シ、戰力ノ増強ニ向ッテ之ヲ  
全幅活用スルコトガ、政府ノ重大ナル責務  
デアルト確信スルモノデアリマス、曩ニ私  
ハ本議場ニ於テ、行政各廳ノ事務ヲ能フ限  
リ簡素強力ナラシメ、之ニ依テ得タル人  
員ハ、舉ゲテ之ヲ大東亞全般ニ亘ツテ活躍  
セシメムトスル決意ヲ表明致シタノデアリ  
マス、而シテ政府ハ之ヲ實行シ、相當多數  
ノ官吏定員ヲ減少シ、官廳事務遂行ノ方法  
モ、戰時ニ適應スルヤウ銳意工風改善ヲ加  
ヘマシテ、實效ヲ舉ゲツ、アルノデアリマ  
ス、又既ニ多數ノ人士ハ出デテ大東亞ノ各  
地ニ於テ其ノ建設經營ニ挺身シテ居ルノデ  
アリマス、政府ハ今後モ此ノ方針ニ則リマ  
シテ、愈々其ノ實效ヲ舉ゲムコトヲ期シテ居  
他方新タニ大東亞省ヲ設置シ、大東亞地域  
ニ於ケル帝國ノ政務ヲ一元的且包括的ニ處  
理スルコトト致シタノデアリマス、是等政  
府機構ノ改正ト相俟テ、戰時國內體制ノ整  
備ヲ期シ、政府ハ公共團體ニ付、而シテ文  
農業商業等各方面ニ亘ツテ、刷新強化ヲ企圖  
シテ居ルノデアリマス、物的戰力ノ擴充ニ  
付キマシテハ、從來ノ重點主義ヲ更ニ徹底  
シ、直接戰力ノ增强上緊要ナル鐵鋼、石炭、  
輕金屬、船舶、航空機等、重要軍需物資ノ急

速増産ニ全力ヲ傾注スルコトハ勿論、有ラ  
ユル創意工夫ヲ凝ラシテ、不測ノ事態ニ對  
處スベキ劃期的增産對策ヲ實施スル方針ヲ  
以チマシテ、既ニ著々之ガ具體化ニ努メテ  
居ル次第デアリマス、殊ニ造船ニ關シマシテ  
ハ、政府ハ格段ノ努力ヲ傾注シテ參ッタノ  
デアリマスルガ、今ヤ著々其ノ效ヲ收メ、  
前途何等不安無キニ至ッタノデアリマス、  
又鐵鋼生産等ニ於キマシテモ、東亞ノ全域  
ヲ通ジ、從來ノ様式ニ囚ハレズ、新タナル  
構想ノ下ニ、各般ノ需要ニ應ゼムトシテ居  
ルノデアリマス、政府ハ今回重要軍需物資  
ノ増産ヲ期スル爲ニ、其ノ障害トナルガ如  
キ法令規定ノ制約ヲ排除スルノ途ヲ講ジマ  
スルト共ニ、内閣總理大臣ノ權限ヲ強化シ、  
眞ニ事態ニ即應シ、彈力性アル指導ヲ行ヒ、  
更ニ又官廳ノ指導監督ヲ單一化シテ、生産  
者ヲシテ其ノ據ル所ヲ簡明ナラシメムコト  
ヲ期シテ居ルモノデアリマス、而シテ戦力  
ノ增强ノ爲ニハ、政府ハ廣ク民間有識者ノ  
意見ニ接シテ居リマスルガ、今後トモ出来  
衆智ヲ蒐ムルヲ緊要ト認メ、曩ニ大東亞建  
設審議會ノ設置ヲ見マシテ、幾多貴重ナル  
利ニ至ル迄ノ過程ニ於テ、國民ハ有ラ  
チ抜ク爲ニハ、各種ノ不便不足ハ素ヨリ  
已ムヲ得ザルモノデアリマス、最後ノ勝  
利ニ至ル迄ノ過程ニ於テ、國民ハ有ラ  
チ困苦ニ耐エテ行カナケレバナラヌノデア

リマス、一億國民ノ此ノ勞苦ガ積ミニ積ンデ、始メテ此ノ戰争ヲ戰ヒ抜ク力ガ生レルノデアリマス、固ヨリ政府ハ、國民生活ノ確保ニ關シマシテハ萬般ノ措置ヲ講ゼムトスルモノデアリマスルガ、我々一億國民蓄ノ増強ニ徹底シ、如何ナル事態ニモ動ゼザル、質實剛健ニシテ、而モ清新簡素ナル戰時生活ノ確立ヲ期セネバナラヌノデアリマス、今ヤ帝國ハ、大東亞共榮圈建設ノ中核タルベキ人士ヲ愈々多く必要トシテ居ルノデアリマス、政府ハ學制ノ改革ヲ斷行シ、在學年限ノ短縮ヲ圖リマスルト共ニ、戰力增强ニ直接必要ナル部門ノ擴充強化ヲ行ヒ、以テ時局ノ要求ニ應ゼムトシテ居ルノデアリマス、又政府ハ、戰時下諷刺タル國民ノ健康ヲ増進スルコトガ最モ必要デアルト考フルモノデアリマス、之ガ爲ニ政府ハ諸般ノ健民對策、特ニ結核對策ニ付キマシテハ萬全ノ努力ヲ傾倒セムトスルモノデアリマス、尙此ノ機會ニ於キマシテ、曠古ノ大戰中ニモ拘ラズ、累年我國ノ人口動態極メテ良好デアリマシテ、出產ノ如キハ空前ノ數ニ達シ、死亡ハ却テ減少ノ歩ヲ辿リツ、アリマスルコトヲ報告シ得マスルコトハ、誠ニ力強キ限リデアリマス、政府ハ以上申述べマシタル趣旨ニ基キ、豫算案及び法律案ヲ今期議會ニ提出致シマシタル次第デアリマス、何卒速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望致シマス、終リ(拍手)

○議長(伯爵松平賴壽君) 谷外務大臣

〔國務大臣谷正之君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(谷正之君) 本日茲ニ戰時外交  
ノ諸問題ニ關シ、聊カ所見ヲ開陳スルノ機  
會ヲ得マシタコトハ、私ノ衷心光榮ト存ズ  
世界ハ若干ノ中立國ヲ除キ、相對立スル二  
大陣營ニ分レ、兩者各、總力ヲ擧ゲテ相戰  
フ空前ノ大世界戰爭ヲ展開シ、國際情勢ハ  
劃期的變革ヲ見ルニ至ッタノデアリマス、  
今過去一年ヲ回顧シ、現在ニ於キマスル世  
界情勢ヲ概觀シマスルニ、先づ東亞ニ於キ  
マシテハ、帝國ノ蹶起ハ、實ニ多年米英ノ  
壓制下ニ苦シシニ居リマシタル東亞諸民族  
ニ對シ、一齊ニ奮起スルノ機會ヲ與ヘタモノ  
ニアリマス、即チ滿洲國、中華民國及「タ  
イ」國ハ、各々其ノ立場ニ於キマシテ、今次聖  
戰ノ完遂ニ對シ、當初ヨリ物心兩方面ヨリ  
スル有ラユ爾協力ヲ致シ、南方地域ノ諸民  
族モ亦、我ガ善謀勇戰、而モ慈愛ニ充チタル  
トニ進ンデ協力ヲ誓ヒツ、アル實情デアリ  
ルト共ニ、大東亞共榮圈建設ノ歴史的必然  
性ヲ自覺シ、帝國ト共ニ、之ガ建設ト防衛  
實ハ儼然トシテ存シ、八紘爲宇ノ理想ノ下、大  
東亞へ一步々々堅實ナル建設ノ歩ミヲ示  
シ、今ヤ帝國ハ必勝不敗ノ地位ニ立ツニ至ッ  
タノデアリマス、歐洲方面ニ於キマシテ

ハ、帝國ノ開戰以來ノ赫々タル戰果ヘ、益々  
樞軸諸國ノ志氣ヲ昂メ、是等諸國ノ歐洲新  
秩序建設ニ對スル確心ヲ新タニ致シタノデ  
アリマス、而シテ最近ノ新事態ト致シマシ  
テ、北阿ニ於キマシテハ、獨伊軍ハ「エジ  
プト」戰線ヲ撤收シマスルト共ニ、神速  
果敢ナル對處策ニ出デ、且下「チュニヂア」  
方面ニ重點ヲ置キ、此ノ方面ヨリスル米英  
軍ノ攻勢ヲ挫折セシメツ、アル狀況デアリ  
マス、斯クテ樞軸離間ノ爲ニセル米英式宣  
傳混リノ謀略攻勢モ、其ノ效ヲ奏セズ、寧ロ  
獨伊ノ提携ヲ始メ、歐洲ニ於ケル樞軸側ノ  
態勢ヲ鞏固ナラシムルノ結果トナリ、爲ニ  
却テ最近敵陣營内ニ於キマシテ、新タナ  
ル第二戰線論ヲ生ムニ至リマシタ、尙米  
英ノ非道ナル西北「アフリカ」進出ノ爲、  
佛國ノ情勢ハ一時混亂ニ陥リマシタガ、  
幸ニシテ獨伊ノ理解アル態度ト「ラヴァ  
ル」首相ノ不動ノ親獨政策トニ依リマシ  
テ、今ヤ平靜ニ歸シ、同國ハ獨伊兩國ト  
ノ協力關係ヲ益々緊密ニシ、其ノ人的及物  
的資源ヲ以テ新歐洲ノ建設ニ貢獻セムコ  
トヲ期待セラレテ居ルノデアリマス、斯ク  
ノ如ク樞軸傘下ニ於ケル歐洲ノ現況ハ、  
敵方ノ有ラユル虛構宣傳ニ拘ラズ、漸次建  
設ノ道程ヲ辿リツ、アルノデアリマシテ、  
今ヤ獨伊ヲ中心トスル歐洲諸國ハ、益々其  
共同ノ運命ヲ自覺スルト共ニ、遙カニ帝國  
トノ結果ヲ固クシ、不撓不屈必勝不敗ノ態  
勢ノ強化ニ邁進シツ、アルノデアリマス、  
勢ニ對シ敵米英側ノ情勢ヲ觀望シマスル

ニ、當初帝國ノ緒戰ニ於ケル相次グ大戰果  
ハ、米英側ニ甚大ナル物心兩面ノ打擊ヲ與  
ヘ、一時ハ兩國トモ周章策ノ施ス所ヲ知ラ  
ザル有様デアッタノデアリマスルガ、其ノ後ノ  
戰局ノ進展ニ伴ヒ、漸ク對策樹立ヲ急ギ、  
專ラ米國ノ豊富ナル物力ヲ恃ミ、兩三年後ノ  
總反攻ヲ企圖シ、差當リハ主力ヲ「ドイツ」  
打倒ニ置クト稱シテ「ソヴィエト」聯邦ヲ聲援  
シ、物資ヲ供給シテ、「ドイツ」ノ重壓ヲ一  
手ニ引受ケサセ、其ノ間自ラハ戰力培養ニ  
努メテ居ツタノデアリマス、然ルニ其ノ  
後皇軍ノ戰果益々譽リ、遠ク「アリューシャン」  
及「インド」洋方面迄制壓スル所トナリマス  
特ニ米國ニ於キマシテハ即時反攻實施ヲ要  
求スル聲ガ高マリ、爲ニ米英當局ハ極メテ  
困難ナル地位ニ陥ツタノデアリマス、茲ニ  
於キマシテ、米英側ハ何等カ局面ノ展開ヲ  
圖ラザルヲ得ザル羽目トナリ、先づ米國ニ  
於キマシテハ、一層積極的ニ國內戰時體制  
ノ強化ニ狂奔スルト共ニ、「アラスカ」公路  
ノ開設、濠洲ノ防備強化、支那ノ一部及「イ  
ンド」方面ニ於ケル航空基地ノ設定等ニ依  
リ、遠巻キニ對日反擊ノ機ヲ窺ヒ、更ニ又  
英國ト共ニ「イラン」、「イラク」方面ニ兵力  
ヲ増強シ、「アフリカ」及西南「アジア」ヲ連  
ネテ、獨伊兩國ノ進出ヲ遮断スルノ態度ニ  
マス、敍上ノ如キ世界情勢ノ變轉ニ對處シ、  
帝國政府ハ不斷ノ注意ヲ怠ラザルト共ニ、  
ヲ謬ラザラムコトヲ期待スルモノデアリマ  
ス、斯上ノ如キ世界情勢ノ變轉ニ對處シ、  
帝國政府ハ不斷ノ注意ヲ怠ラザルト共ニ、  
特ニ意ヲ用ヒテ居リマスル所ハ、大東亞地  
域内諸國トノ關係ヲ一層緊密化スルト同時  
遂シ、世界新秩序ノ建設ニ邁進スペキ協力  
體制ヲ整備スルニアルノデアリマス、先づ

行動ヲ支配スル彼等ノ國情デアリマスルカ  
ラ、何時如何ナル方面ニ進出スルヤモ測ラ  
ハ徒ニ元寇ノ轍、「ダンケルク」ノ悲劇ヲ繰  
返スニ過ギナインデアリマセウ、以上二大  
陣營ノ間ニ在ツテ、中立國ノ地位ハ極メテ  
困難ナルモノガアリマス、中南米諸國ノ大  
部分ハ、既ニ米國ノ西半球制覇政策ノ壓力  
ニ屈シ、其ノ犠牲トナツテ居リ、現ニ「チ  
リ」國ハ最近米國ノ壓迫ニ堪ヘ兼ネ、日獨  
伊三國ニ對シ斷交スルノ愚舉ニ出タノデア  
リマス、之ニ反シ「アルゼンチン」國ガ毅然  
トシテ中立政策ヲ堅持シテ居リマスルコト  
ハ尊敬ニ値スル所デアリマシテ、帝國ト致  
シマシテハ、同國ト出來得ル限リ友好關係  
ヲ保持シタイ所存デアリマス、又歐洲方面  
ニ於キマスル中立國、就中「トルコ」、「ス  
ペイン」及び「ポルトガル」等ハ敵側ノ惡辣極  
マル策謀ニ抗シテ獨自ノ立場ヲ堅持シテ來  
タノデアリマシテ、私ハ是等諸國ノ賢明ナ  
ル指導者ガ、能ク大局ヲ洞察シ其ノ嚮フ所  
ヲ謬ラザラムコトヲ期待スルモノデアリマ  
ス、敍上ノ如キ世界情勢ノ變轉ニ對處シ、  
帝國政府ハ不斷ノ注意ヲ怠ラザルト共ニ、  
特ニ意ヲ用ヒテ居リマスル所ハ、大東亞地  
域内諸國トノ關係ヲ一層緊密化スルト同時  
遂シ、世界新秩序ノ建設ニ邁進スペキ協力  
體制ヲ整備スルニアルノデアリマス、先づ

不動ノモノニアリマシテ、彼我ノ間常ニ密接協力ヲナシツ、アリマスルコトハ改メテ申ス迄モナイコトデアリマス、次ニ中華民國ニ於キマシテハ、去ル九日進ンデ米英兩國ニ對シテ戰ヲ宣シ、帝國ト緊密一體、大東亞ノ新秩序建設ニ更ニ積極的ニ參加協力リマス、國民政府ノ參戰ニ當リマシテ、帝國政府ノ執リ且今後執ラムトスル措置ニ付キマシテハ、當日公布セラレマシタル戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言及ビ租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定竝ニ同日發表セラレマンタル帝國政府聲明等ニ依リ、詳細既ニ御承知ノ通リデアリマス、元來日華提携ハ自然ノ大道デアリマス、而モ從來兩國相携ヘテ此ノ大道ヲ歩ム能ヘザリシ所以ハ、米英兩國が多年ニ亘リ支那ニ蟠居シテ東亞擾亂ノ根源ヲ成シタルニ依ルノデアリマス、然ルニ今次大東亞戰爭ガ勃發シマスルヤ、帝國ノ戰勝ト共ニ、大東亞ノ形勢ハ一變致シマシタ、即チ東亞ニ於ケル米英ノ據點ハ悉ク覆滅シ、未來永劫復歸ノ餘地ナキニ至リマシタ、而モ租界ト言ヒ、治外法權ト言ヒ、是等ハ阿片戰爭ノ結果生マレタル米英ニ依ル東洋擇取ノ記念塔デアリマシテ、帝國トシテモ、アリマス、然ルニ國民政府ハ曩ニ更新シ、今ヤ日華五ニ共同ノ敵ニ對シ、同心一體、戰爭ノ完遂ニ邁進スルニ至リマシタ、即チ申華民國ノ獨立ト其ノ繁榮トハ、帝國、否、

大東亞全體ノ繁榮ト福祉トニ全ク一致スルニ至リマシタ、從ツテ此ノ際帝國ガ、  
大膽率直ニ、此ノ不自然ナル過去ノ屈辱的制度ヲ一擲シ、東亞本然ノ姿ニ於テ、  
中華民國ト相信ジ相交ハルニ至リマシタルコトハ、歴史ノ必然デアリマシテ、東亞ノ  
大局上誠ニ慶賀ニ堪ヘマセス、然ルニ米英兩國ハ、今更ナガラ我ガ措置ニ狼狽シ、去  
ル十一日、重慶政權トノ間ニ租界還付、治外法權ノ撤廢等ニ關スル條約ヲ締結シタノ  
デアリマス、斯クノ如キハ、米英側ガ既ニ喪失セル權益ノ返還ヲ約束シ、之ヲ以て世  
界ヲ欺瞞セムト企圖スルモノデアリマシテ、一ニ彼等ノ狡猾サト陰險サトヲ示スノ  
ミデアリマス、重慶政權ガ此ノ空手形ニ欣喜シ、民國百年ノ恨ミヲ忘ル、ガ如ク振舞<sup>ツ</sup>  
テ居リマスルノハ、誠ニ憫笑ニ堪ヘナイコトデアリマス、尙盟邦獨伊兩國ガ、直チニ  
十分ノ理解ヲ以テ、欣然帝國ノ對支新政策ニ同調ノ態度ニ出デ、既ニ伊國政府ニ於テ  
ハ、租界還付等ニ關シ國民政府ニ對シ所要トスル所デアリマス、要スルニ、此次日華  
新關係ノ展開ハ、誠ニ八紘爲宇ノ大精神ノ顯現デアリ、大東亞建設、世界新秩序建設ニ  
對スル帝國ノ眞意ト誠意トヲ、全世界ニ對シ明カニシタモノデアリマシテ、中國民衆ハ固ヨリ、大東亞諸民族ノ帝國ニ對スル信賴ヲ益々厚カラシムルモノナルコトハ、私  
ノ固ク信ジテ疑ハナイ所デアリマス、帝國ト「タイ」國トノ間ニハ、先般文化協定ノ

締結ヲ了シマシタガ、同協定ハ、兩國間ノ  
緊密ナル軍事的、政治的、經濟的提携ニ加  
フルニ、更ニ文化的方面ニ於キマシテモ、  
リマス、私ハ同協定ノ運用ガ、將來ノ日  
程、廣汎ナル協力關係ヲ約シタルモノデア  
リマス、  
「タイ」關係ノ發展ハ固ヨリ、大東亞ノ文  
運復興ニ對シ、寄與スル所甚大ナルモノア  
リト信ズルモノデアリマス、尙佛印ハ既ニ  
帝國トノ間ニ軍事上、政治上及經濟上密接  
ノ關係ニ立ッテ居ルノデアリマスガ、更ニ  
今回、既ニ發表セルガ如キ金融上ノ取極成  
立ニ依リマシテ、此ノ方面ニ於テモ帝國ト  
緊密協力スルニ至リマシタルコトハ、喜バシ  
キ次第デアリマス、私ハ佛印當局ガ、世界全  
局ニ瓦ル情勢ヲ達觀シ、大東亞共榮圈内ニ於  
ケル帝國ノ地位ト佛印自體ノ地位トニ付、此  
ノ上トモ深キ省察ヲ加ヘ、能ク之ヲ正解シ  
益、帝國ニ對スル協力ヲ積極的ナラシメムコ  
トヲ期待スルモノデアリマス、翻シテ盟邦獨伊兩  
國トノ提携ハ、軍事、政治、文化等各般ニ互  
リ、極メテ緊密鞏固デアリマスルガ、之ニ對シ  
敵側ハ、三國離間ノ爲、有ラユル努力ヲ拂  
ヒツ、アルノデアリマス、斯クノ如キハ、  
三國ガ、道義ニ基ク世界平和ノ確立ヲ志シ  
テ居ル崇高ナル理想ニ依ッテ結バレテ居リ、  
自己本位ノ利害打算ニ基キ離合聚散常ナキ  
米英等トハ、根本的ニ異ナル事實ニ關シ、  
彼等ガ如何ニ認識不足デアルカヲ暴露シテ  
居ルモノニ外ナラナイノデアリマス、帝國  
政府ハ、右三國關係ニ更ニ一步ヲ進メ、今

次戦争中、日獨伊三國ガ各々其ノ經濟總力ヲ擧ゲテ相互ニ援助致シマスルノミナラズ、戰爭終結後ニ於テモ、ソレヽ自國ノ經濟圈内ニ於テ各民族ノ共存共榮ヲ確保スベキ新秩序ヲ實現スル爲、日獨及日伊間ニ經濟協力ニ關スル協定ヲ成立セシムコトヲ希望シ、豫テヨリ兩國政府トノ間ニ協議中デアリマシタガ、去ル二十日、日獨間及日伊間ニ本件協定ガ「ドイツ」大本營及「ローマ」ニ於テソレヽ署名調印セラレマシタルコト、當時發表ノ通リデアリマス、本協定ハ昭和十五年九月二十七日ノ三國條約ノ精神ヲ如實ニ經濟ノ分野ニモ現シタルモノデアリマシテ、之レガ實施ニ依リ、日獨伊三國間ノ經濟協力ハ益々緊密圓滑トナリ、戰力增强ニ貢獻スル所尠カラザルモノアルト共ニ、之ニ依リ樞軸側ノ勝利ハ益々確實トナッテ參ッタト確信スル次第デアリマス、尚帝國ガ大東亞共榮圈建設ニ當リ、何等排他的又ハ閉鎖的意圖ヲ抱クモノデナイコトハ、既ニ闡明セラレタ所デアリマスガ、本協定ノ成立ハ、啻ニ右帝國ノ意圖ヲ如實ニ表示シタバカリデナク、帝國ニ依ル大東亞共榮圈ノ建設、獨伊ニ依ル歐洲共榮圈ノ確立ガ、米英流ノ空虚ナル宣傳デナクシマシテハ、昭和十六年四月成立セルゲツ、アルモノナルコトヲ明カニシタモノデアリマス、次ニ「ソヴィエト」聯邦ニ關スル日「ソ」中立條約ヲ尊重スル帝國ノ對「ソ」外交方針ニハ、何等變更ハナインデアリ

マス、但シスカル帝國政府ノ根本方針ハ、  
「ソヴィエト」聯邦ニ於テモ、本中立條約ヲ遵守  
スルコトヲ前提トスルモノナルコトハ、固ヨリ  
理ノ當然デアリマス、此ノ機會ニ於キマシテ、  
私ハ現在尙敵國乃至斷交國ニ在リマシテ、  
幸苦ヲ重ネツ、アル多數ノ同胞ニ對シ、  
深甚ナル敬意ト同情トヲ表示シ、切ニ其ノ  
健在ヲ祈ル者デアリマス、是ト同時ニ、我  
ガ在留同胞ニ對スル是等諸國ノ態度ニ關シ  
マシテハ、嚴ニ監視ヲ懈ラズ、不當ナル壓  
迫ニ對シテハ、嚴重抗議スル等、其ノ幸苦  
ヲ輕減セムガ爲、有ラユル手段ヲ講ジツ、  
アルコトヲ茲ニ言明スル者デアリマス、抑、  
今次戰爭タルヤ、畏クモ宣戰ノ大詔ニ明示  
セラレテ居リマスルガ如ク、米英ノ非道ナ  
ル壓迫ニ對シ、帝國ガ自存自衛ノ爲、蹶然  
起ツノ已ムヲ得ザルニ至ツタモノデアリマ  
シテ、又曩ニ獨伊ガ起ツニ至リマシタル所  
以ノモノモ、米英ガ世界平和擁護ヲ名トシ  
テ「ヴェルサイユ」體制ヲ盾ニ、獨伊ヲ壓迫シ  
タルニ基因シテ居リマス、帝國ガ國際聯盟  
脫退ヲ餘儀ナクセラレ、獨伊等相次イデ之  
ヲ脱退致シタルモ、右米英ノ横暴ニ基キマ  
スコト周知ノ事實デアリマス、今ヤ米英ノ  
指導者ハ、戰後ノ平和企圖ニ關シ、大西洋  
憲章等種々眞シヤカナル宣傳ヲシツ、アリ  
マスガ、右ハ畢竟前ノ「ヴェルサイユ」體制同  
様、米英本位ノ世界制霸ヲ企圖スルモノニ  
過ギマセヌ、從ツテ若シスカル企圖ガ實現ス  
ルトシマスレバ、日獨伊等ノ如キ新興諸國  
ハ、遂ニ其ノ處ヲ得ルノ機ナク、世界恒久

ノ平和ハ、得テ望ムベカラズト信ズルノデ  
アリマス、又米英側ハ、所謂四ノ自由、即  
チ言論及宗教ノ自由、竝ニ缺乏及恐怖ヨリノ  
自由等ト稱スルモノヲ掲ゲ、今次戰爭ハ右  
理想ガ帝國及権輿側ノ爲脅威又ハ蹂躪セラ  
レタルニ對シ、之ヲ擁護セムガ爲ノ、自由  
ノ爲ノ戰爭、生存ノ爲ノ戰争デアルト呼號  
シテ、國民ノ戰意鼓舞ニ努メテ居ルノデア  
リマス、併シナガラ日獨伊三國ガ、嘗テ米  
英ノ自由又ハ生存ヲ脅威シタル事實ガアリ  
マスカ、否、自ラ廣大ナル領土豐富ナル  
資源トヲ有シナガラ、平和的開發ニ從事ス  
ル東洋ノ移民ヲ逸早ク排斥シ、又却テ太平  
洋ヲ渡シテ、東亞ノ天地ニ傍若無人ノ進出ヲ  
敢テシ、現ニ支那ノ殘存政權ヲ支援シテ、  
東亞ノ禍亂ヲ助長シツ、アリマスル者ハ誰  
デアリマスカ、事態ノ眞相ヲ顛倒シテ國民  
ヲ欺瞞シ、今次戰爭ニ導キタル米英指導者  
ノ罪過ハ、天人共ニ許サザルモノガアリマ  
ス、若シ彼等ノ主張スル如ク戰爭ノ責任者  
ヲ處罰スペキモノナラバ、第一ニ處罰ヲ受  
クベキ者ハ彼等自身ナルコトハ明カデアリ  
マス、要スルニ米英ノ指導者ガ如何ニ美辭  
麗句ヲ連ネテ強辯ヲ逞シウ致シマストモ、  
彼等ノ所謂戰爭目的ガ國民ヲ眞ニ納得セ  
シムルニ足リマセヌノハ、當然ノコトデア  
リマス、即チ米國指導者ノ企圖シツ、ア  
リマスノハ、米國民ノ眞ノ幸福ト沒交渉ナ  
ル新タル世界制霸デアリ、又英國指導者  
ノ只管顧念シツ、アリマスノハ、舊態依然

彼等ハ表面共通ノ戰爭目的ヲ掲ゲテハ居リマ  
スガ、内實ハ同床異夢トモ謂フベキモノデ  
アリマシテ、最近米英兩國ノ間ニ其ノ戰爭  
目的又ハ戰爭指導ヲ繞ツテ、激シキ意見ノ對  
立ヲ露呈シテ居リマスノハ、誠ニ當然ト申  
スベキデアリマス、私ハ米英兩國民ガ冷靜  
ニ事ノ順逆ヲ考ヘマスル時、必ズヤ慄然ト  
シテ其ノ指導者ノ犯シツ、アル罪過ニ氣付  
キ、彼等ノ戰爭ガ如何ニ無名ノ師デアツテ、  
又其ノ犠牲ガ如何ニ無意味ナルカヲ悟ルニ  
至ルモノナルカヲ信ジテ疑ハナイノデアリ  
マス、之ニ反シ、帝國ガ一年前敢然起チ上  
リマシタル所以ノモノハ、米英ノ利己的世  
界支配體制ノ壓迫ヲ排除シ、正シキモノガ  
正シキ所ヲ得ル、道義ニ基ク新秩序ヲ建設  
セムトスルニ在ルノデアリマシテ、萬邦ヲ  
シテ各、其ノ所ヲ得シムルトハ、實ニ此ノ事  
ヲ指スニ外ナラナイト存ズルノデアリマス、  
即チ帝國ノ戰爭目的ハ、大義名分炳乎トシ  
テ明カナノデアリマシテ、正邪ノ岐ル、所、  
窮局ニ於ケル勝敗ノ數モ亦自ラ明カナノデ  
アリマス、顧ミマスレバ建國二千六百有餘  
年、帝國ハ未ダ嘗テ戰ツテ敗レタコトナキ光  
輝アル歴史ヲ有スルノデアリマス、是レ即  
チ帝國ノ戰ガ常ニ破邪顯正ノ戰デアッタガ  
爲ニ外ナラナインデアリマス、今次大戰ハ、  
其ノ規模ニ於テ、又其ノ激シサニ於テ、有  
史以來未會有ノモノデアリマスガ、其ノ意  
義ニ於テモ亦極メテ深遠ナルモノガアリマ  
ス、私ハ戰時外交ノ要諦モ畢竟此ノ聖戰ノ  
意義目的ニ徹シ、政戰一致、之ヲ宣揚完遂

スルニアルモノト信ジ、對外施策ノ遂行ニ  
萬遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居ル次第デ  
アリマス（拍手）

○議長（伯爵松平賴壽君） 國務大臣ノ演說  
ニ對シ、伍堂卓雄君其ノ他ヨリ、質疑ノ通  
告ガゴザイマスルカラ、是ヨリ許可スル筈  
デアリマスガ、本日ハ時間ノ都合上、之ヲ

他ノ機會ニ譲リ、此ノ際議事日程ニ移リタ  
イト存ジマスルガ、御異議ゴザイマセヌカ

スベキデアリマス、私ハ米英兩國民ガ冷靜  
ノ爲ノ戰爭、生存ノ爲ノ戰争デアルト呼號  
シテ、國民ノ戰意鼓舞ニ努メテ居ルノデア  
リマス、併シナガラ日獨伊三國ガ、嘗テ米  
英ノ自由又ハ生存ヲ脅威シタル事實ガアリ  
マスカ、否、自ラ廣大ナル領土豐富ナル  
資源トヲ有シナガラ、平和的開發ニ從事ス  
ル東洋ノ移民ヲ逸早ク排斥シ、又却テ太平  
洋ヲ渡シテ、東亞ノ天地ニ傍若無人ノ進出ヲ  
敢テシ、現ニ支那ノ殘存政權ヲ支援シテ、  
東亞ノ禍亂ヲ助長シツ、アリマスル者ハ誰  
デアリマスカ、事態ノ眞相ヲ顛倒シテ國民  
ヲ欺瞞シ、今次戰爭ニ導キタル米英指導者  
ノ罪過ハ、天人共ニ許サザルモノガアリマ  
ス、若シ彼等ノ主張スル如ク戰爭ノ責任者  
ヲ處罰スペキモノナラバ、第一ニ處罰ヲ受  
クベキ者ハ彼等自身ナルコトハ明カデアリ  
マス、要スルニ米英ノ指導者ガ如何ニ美辭  
麗句ヲ連ネテ強辯ヲ逞シウ致シマストモ、  
彼等ノ所謂戰爭目的ガ國民ヲ眞ニ納得セ  
シムルニ足リマセヌノハ、當然ノコトデア  
リマス、即チ米國指導者ノ企圖シツ、ア  
リマスノハ、米國民ノ眞ノ幸福ト沒交渉ナ  
ル新タル世界制霸デアリ、又英國指導者  
ノ只管顧念シツ、アリマスノハ、舊態依然

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナイト認  
メマス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナイト認  
メマス

○議長（伯爵松平賴壽君） 日程第一、恩給  
法中改正法律案、政府提出、第一讀會、森  
山法制局長官

〔左ノ案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ  
タメ茲ニ載錄ス以下之ニ附〕

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス  
昭和十八年一月十八日  
恩給法中改正法律案

陸軍大臣兼東條英機  
農林大臣井野碩哉  
文部大臣橋田邦彦  
厚生大臣小泉親彥  
司法大臣岩村通世  
海軍大臣鷹田繁太郎  
遞信大臣寺島健  
大藏大臣賀屋興宣  
商工大臣岸信介

鐵道大臣 八田 嘉明  
内務大臣 湯澤三千男  
外務大臣 谷 正之  
大東亞大臣 青木 一男  
恩給法中改正法律案

(イ) 判任官ノ待遇ヲ受クル巡查又ハ  
消防手警部補、消防士補、消防機關士  
補又ハ判任官タル巡查若ハ消防手判  
任官ノ待遇ヲ受クル巡查又ハ消防手  
二就職スルトキ

(ロ) 警部補、消防士補、消防機關士  
補又ハ判任官タル巡查若ハ消防手判  
任官ノ待遇ヲ受クル巡查若ハ消防手  
二就職スルトキ

(ハ) 判任官ノ待遇ヲ受クル看守又ハ  
教導副看守長又ハ判任官タル看守若  
ハ教導ニ就職スルトキ

(ニ) 副看守長又ハ判任官タル看守若  
ハ教導判任官ノ待遇ヲ受クル看守又  
ハ教導ニ就職スルトキ

(ホ) 其ノ他勅令ヲ以テ定ムル場合  
第二十六條第四號伊書ヲ左ノ如ク改ム  
但シ左ノ場合ニ於テハ之ヲ退職ト看做  
ス

(イ) 警部補、消防士補、消防機關士  
補、副看守長又ハ判任官タル巡查、  
消防手、看守若ハ教導他ノ官ニ轉シ  
タルトキ

(ロ) 他ノ官ヨリ警部補、消防士補、  
消防機關士補、副看守長又ハ判任官  
タル巡查、消防手、看守若ハ教導ニ  
轉シタルトキ

(ハ) 其ノ他勅令ヲ以テ定ムル場合  
第二十八條ノ二 防衛召集ニ依リ部隊ニ  
編入セラレタル軍人ノ在職年ノ計算ニ  
關シテハ本法中ノ在職年ノ計算ニ關ス  
ル規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ別段ノ定ム

爲スコトヲ得  
第四十七條中「陸軍ノ見習士官海軍ノ候補生」ヲ「陸軍ノ見習士官海軍ノ候補生見習尉官」ニ、「陸軍ノ見習士官又ハ海軍ノ候補生」ヲ「陸軍ノ見習士官又ハ海軍ノ候補生若ハ見習尉官」ニ改ム  
第五十九條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ  
但シ文官ニシテ府縣又ハ之ニ準スヘキ地方經濟ヨリ俸給ヲ受クルモノハ當該府縣又ハ之ニ準スヘキ地方經濟ニ對シ納付スヘシ  
第五十九條ノ二第一項ヲ左ノ如ク改ム  
本節ニ於ケル退職當時ノ俸給年額ノ計算ニ付テハ左ノ特例ニ從フ  
一 公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之カ爲退職シ又ハ死亡シタル者ニ付退職又ハ死亡前一年内ニ昇給アリタル場合ニ於テハ級俸（軍人及準軍人ニ付テハ別表第一號表ノ假定俸給年額ヲ以テ級俸トス以下同シ）ノ定アル俸給ニ付ニ級ヲ超エ昇給シタルトキハ二級、其ノ定ナキ俸給ニ付退職又ハ死亡ノ一年前ノ俸給ノ百分ノ三十ヲ超エ昇給シタルトキハ百分ノ三十ノ昇給アリタルモノトス  
二 前號ニ規定スル者以外ノ者は付退職又ハ死亡前一年内ニ昇給アリタル場合ニ於テハ級俸ノ定アル俸給ニ付ニ級ヲ超エ昇給シタルトキハ一級、其ノ定ナキ俸給ニ付退職又ハ死亡ノ一年前ノ俸給ノ百分ノ十五ヲ超エ昇

給シタルトキハ百分ノ十五ノ昇給ア  
リタルモノトス

同條第二項中「前項但書」ヲ「前項」ニ、同條第三項中「退職前一年内ノ俸給」ヲ「退職當時ノ俸給年額」ニ、同條第四項中「看做シ計算ス」ヲ「看做ス」ニ、同條第五項中「退職前ノ俸給月額ト稱スルハ退職前ヲ「浪職當時ノ俸給月額トハ退職當時」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

軍人及準軍人ニ付テハ別表第一號表ニ定ムル各階等ニ對スル假定俸給年額ヲ以テ各其ノ階等ニ對スル俸給年額トス第六十條第二項、第三項及第七項中「退職前」ヲ「退職當時」ニ改ム

第六十一條第三項中「退職前」ヲ「退職當時」ニ、「十三年以上」ヲ「十二年以上」ニ、「下士官ニ在リテハ七圓、兵ニ在リテハ六圓」ヲ「下士官ノ俸給年額ヲ以テ普通恩給額ヲ計算スル場合ニ在リテハ七圓、兵ノ俸給年額ヲ以テ之ヲ計算スル場合ニ在リテハ六圓」ニ改ム

第六十二條第二項乃至第四項及第八項、第六十三條第二項及第三項、第六十四條第二項、第六十七條第二項、第六十八條第二項並ニ第七十條第一項中「退職前」ヲ「退職當時」ニ改ム

第七十四條第二項中「生活資料ヲ得ルノナク且之ヲ扶養スル者ナキ」ヲ「生活



項ノ場合ニ付之ヲ準用ス但シ昭和八年九月三十日以前ニ給與事由ノ生ジタル一時恩給ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ。第七條 昭和八年法律第五十號附則第十條中「第五十九條ノ二第一項但書」ヲ「第五十九條ノ二第一項」ニ、「同但書各號」ヲ「同項第二號」ニ改ム。

第八條 従前ノ規定ニ依ル道府縣立師範學校長ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル。恩給法第二十二條ノ改正規定施行ノ際道府縣立師範學校職員ヨリ官立師範學校職員ニ轉任シ同條ノ改正規定施行後之ヲ退職スル者ニ普通恩給ヲ給スル場合ニ於テ其ノ在職年中ニ同條ノ改正規定施行前ノ同法第六十二條第三項又ハ第四項ニ掲タル學校ノ教育職員トシテノ勤續在職年十七年以上ノモノヲ含ムトキハ當該勤續在職年中十七年ヲ控除シタル残ノ勤續在職年一年ニ付同條ノ規定ニ依リ加給ス。

(政府委員森山銳一君演壇ニ登ル)

○政府委員(森山銳一君) 只今議題トナリ

マシタ恩給法中改正法律案ニ付テ、提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、今回ノ改正ハ數點ニ亘ツテ居リマスガ、第一ノ點ハ、恩給事務ノ簡素化デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、先づ恩給金額分擔ノ規定ヲ當分ノ内停止スルコト致シマシタ、現行法デハ、恩給ハ原則トシテ公務員ニ最後ニ俸給ヲ給

シマシタ經濟、即チ國庫ナリ府縣ナリデ、

受給者ニ給スルノデアリマスガ、各經濟ノ内部關係デハ、公務員ニ俸給ヲ給シマシタ、此ノ分擔ノ事務ハ、甚ダ複雜煩瑣デアリマス、多クノ人手ヲ要シマスルコトニナッテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ分擔ノ事務ハ、甚ダ複雜煩瑣デアリマシテ、多クノ人手ヲ要シマスルノデ、戰時止スルコトニ致シマシタ、而シテ恩給金額下、人手ノ節約ノ目的ヲ以テ此ノ事務ヲ停止スルコトニ致シマシタ、而シテ恩給金額

不均衡ヲ生ジマスモノニ付テハ、別途財政上ノ措置ニ依ツテ是正スルコトニ致スノデアリマス、次ハ恩給金額ノ基礎トナリマス俸給ニ關スル規定ノ改正デアリマス、現行法デハ、恩給金額ハ公務員ノ退職前一年内ノ俸給總額ヲ基礎トシテ算出スルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、此ノ計算事務モ甚ダ複雜デアリマスノデ、之ヲ簡素化スルノ趣旨ヲ以テ、退職當時ノ俸給ヲ基礎トスルコトトシ、而モ適正ナル恩給金額ヲ算出シ得ルヤウニ規定ヲ改メルノデアリマス、第二ノ點ハ、公務員デアッタガ外國政府職員トシテ就職シ、更ニ之ヲ退職シテ公務員トシテ再就職シマシタ場合ニ、外國政府職員トシテ御異議ハゴザイマセスカ

○子爵梅園篤彦君 贊成

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平頼壽君) 戸澤子爵ノ動議

ニ御異議ハゴザイマセスカ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

(高山書記官朗讀)

恩給法中改正法律案特別委員

公爵山縣 有道君 伯爵堀田 正恒君

子爵大岡 忠綱君 子爵松平 親義君

男爵今園 國貞君 村上 恭一君

外國政府職員トシテノ在職年ヲ、公務員ノ在職年ニ通算スルノ途ヲ開クコトト致シマシタ、以上ノ諸點ノ外、防衛召集制度ノ新設、師範學校制度ノ改正、官廳職員優遇制度ノ創設等ニ伴ヒマシテ、若干ノ改正ヲ要スルコトナッタノデアリマス、何卒御審議ノ上速力ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ御願ヒ致シマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 別ニ御質疑ガナケレバ、日程第一、特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ特別委員ノ選舉ハ、本會期中ヲ通ジ、特別ノ場合ヲ除キ、其ノ數ヲ九名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出シ、而シテ只今上程セラレマシタ恩給法中改正法律案ノ委員數ヲ十二名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵梅園篤彦君 贊成

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平頼壽君) 戸澤子爵ノ動議

ニ御異議ハゴザイマセスカ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

(高山書記官朗讀)

恩給法中改正法律案特別委員

公爵山縣 有道君 伯爵堀田 正恒君

子爵大岡 忠綱君 子爵松平 親義君

男爵今園 國貞君 村上 恭一君

外國政府職員トナリマスモノデアリ

マスカラ、此ノ種ノ在職年ヲ恩給年限ニ通算致シマスノガ適當デアルト考ヘマシテ、

命令デ外國政府職員トナリマスモノデアリ

東北興業株式會社法中改正法律案第一讀會 二五

下條 康麿君 吉田 茂君

堀切善次郎君 男爵關 義壽君

山上 岩二君 飯塚 知信君

東北興業株式會社法中改正法律案第一讀會 二五

右

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十八年一月十八日

東北興業株式會社法中改正法律案第一讀會 二五

東北興業株式會社法中改正法律案第一讀會 二五

東北興業株式會社法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

東北興業株式會社ガ其ノ資本ヲ増加スル場合ニ依テハ政府ハ其ノ株式ノ引受ヲ爲スコトヲ得

第十二條ノ二 政府ハ東北興業債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證スルコトヲ得

第二十五條ノ二 東北興業株式會社ハ毎營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ

第二十六條第一項中「利益金額ガ」及「每營業年度ニ於テハ」ノ下ニ各「政府以外ノ

者ノ所有スル株式ノヲ加ヘ「各營業年

度ヲ通ジテハ八百五十萬圓」ヲニ相當スル額並ニ當該營業年度ニ於テ支拂ヒタル

東北興業債券及借入金ノ利息額ノ合計額」ニ改メ同條第二項中「利益金額ガ」ノ下

ニ「政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ」ヲ加ヘ同條第三項中「利益金額ガ」ノ下ニ

「政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ」ヲ加ヘ「年百分ノ六ヲ超エ百分ノ九迄ノ金額ニ付テハ」及「年百分ノ九ヲ超ユル金額ニ付テハ」其ノ全額ヲ削除

第二十六條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第二十六條ノ二 東北興業株式會社ノ每

營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額並ニ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ年百分ノ六ノ割合ヲ超エ利益配當當ヲ爲サントスルトキハ其ノ超過スル利益金額ハ利益配當ガ總株式ニ付拂込ミタル株金額ニ對シ均

一ノ割合ニ達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額及政府ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ

對シ一ト五トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スベシ

第二十六條ノ三 東北興業株式會社ガ第

二十六條第一項ノ規定ニ依リ受クル補給金ハ法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依ル純益及臨時利得稅法ニ依ル利益

ノ計算上之ヲ益金ニ算入セズ

### 第二十九條 削除

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條第一項ノ改正規定ハ第八營業年度ヨリ之ヲ適用ス

第二十六條ノ三ノ改正規定ハ第七營業年度分ヨリ之ヲ適用ス

「政府委員森山銳一君演壇ニ登ル」

○政府委員森山銳一君 只今議題トナリ

マシタ東北興業株式會社法中改正法律案ニ付テ、提案ノ理由ヲ説明致シマス、東北興業株式會社法ニ依リ昭和十一年十月創立サ

レマシタ東北興業株式會社ハ、銳意其ノ使命ノ達成ニ努メテ參ッタノアリマスガ、大

東亞戰爭完遂ノ爲、資源ノ開發ト物資ノ増産ヲ圖ルノ要ハ愈々大ナルモノアルニ至リマ

シタ、仍テ今回、同社ハ東北振興ト時局ノ要求トニ對應シマシテ、其ノ事業ヲ擴充致スコトトナツタノアリマスガ、現在ノ機能

○子爵澤正己君 只今上程セラレマシタ

東北興業株式會社法中改正法律案ハ、恩給付テ、提案ノ理由ヲ説明致シマス、東北興業株式會社法ニ依リ昭和十一年十月創立サ

レマシタ東北興業株式會社ハ、銳意其ノ使命ノ達成ニ努メテ參ッタノアリマスガ、大

東亞戰爭完遂ノ爲、資源ノ開發ト物資ノ増

産ヲ圖ルノ要ハ愈々大ナルモノアルニ至リマ

シタ、仍テ今回、同社ハ東北振興ト時局ノ要求トニ對應シマシテ、其ノ事業ヲ擴充致

スコトトナツタノアリマスガ、現在ノ機能

○議長(伯爵松平頼壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) ○程第五、日滿地方稅徵收事務共助法案、日程第七、明治四十年法律第二十五號廢止法律案、日程第九、大正九年法律第五十三號中改正法律案、政府提出、第一讀會、是等ノ三案ヲ一括シテ

シマスノデ、今回、資本金ヲ增加シマシテ、方稅徵收事務共助法案、日程第七、明治四十年法律第二十五號廢止法律案、日程第九、大正九年法律第五十三號中改正法律案、政

府提出、第一讀會、是等ノ三案ヲ一括シテ

當ヲ認ムルト共ニ、東北興業債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付テハ政府之ヲ保證

シ、且毎營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利

益金額ガ、政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ

拂込金額ニ對シ、年六分ノ割合ニ達セザル

ノ計算上之ヲ益金ニ算入セズ

右  
日滿地方稅徵收事務共助法案  
勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス  
昭和十八年一月十八日  
内閣總理大臣 東條 英機  
大藏大臣 賀屋 興宣  
内務大臣 湯澤三千男  
支拂ヒタル社債及借入金ノ利息額ノ合計額ヲ限度トシテ、第十五營業年度迄政府ニ於テ補給金ヲ交付スルコトトシ、尙政府補給金ニ對スル租稅ハ之ヲ免除スル等、同社ノ機能ノ強化ヲ爲スノ必要ヲ認メ、同法ヲ改正セムトスルモノデアリマス、以上ガ本法律案ヲ提出致シマシタ理由デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ御願ヒ致シマス

日滿地方稅徵收事務共助法案  
日滿地方稅徵收事務共助法  
第一條 地方稅、督促手數料、延滯金若ハ滯納處分費ヲ徵收セラルベキ者又ハ其ノ者ノ財產ガ滿洲國內ニ在ルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏又ハ吏員ハ滿洲國ノ當該官吏ニ當該地方稅、督促手數料、延滯金又ハ滯納處分費ノ徵收ヲ囑託スルコトヲ得

第二條 滿洲國ノ地方稅、督促手數料、延滯金若ハ滯納處分費ヲ徵收セラルベキ者又ハ其ノ者ノ財產ガ帝國內ニ在ルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏又ハ吏員ハ滿洲國ノ當該官吏ノ囑託アシテ滯納處分費ヲ徵收シ之ヲ滿洲國ノ當該官吏ニ送付スルコトヲ得

第三條 前條ノ規定ニ依ル徵收金ハ日滿國稅徵收事務共助法第二條ノ規定ニ依ル徵收金ニ次ギ先取特權ヲ有ス  
該市町村稅徵收ノ例ニ依ル  
第三條 前條ノ規定ニ依ル徵收金ハ日滿國稅徵收事務共助法第二條ノ規定ニ依

第四條 第二條ノ規定ニ依ル徵收金ノ滯

納處分ニ對シ不服アル者ハ市町村稅滞  
納處分ノ場合ニ準ジ訴願ヲ爲シ又ハ行  
政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第五條 第二條ノ規定ニ依ル徵收金ノ徵  
收及送付ノ費用ハ當該徵收金ノ徵收ヲ

爲シタル吏員ノ屬スル地方團體ノ負擔  
トス

第六條 町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ  
本法中町村稅ニ關スル規定ハ町村稅ニ

準ズベキモノニ之ヲ適用ス  
町村組合ニシテ町村事務ノ全部又ハ役  
場事務ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適  
用ニ付テハ之ヲ一地方團體ト看做ス

#### 附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

國稅徵收法第四條ノ第一號及地方稅法

第二十六條第一項第一號中「滿洲國ノ國  
稅」ヲ「滿洲國ノ國稅若ハ地方稅」ニ改ム

明治四十年法律第二十五號廢止法律案  
右

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス  
昭和十八年一月十八日

内閣總理大臣 東條 英機  
内務大臣 湯澤三千男

明治四十年法律第二十五號廢止法律案  
明治四十年法律第二十五號廢止法律案  
明治四十年法律第二十五號廢止法律案  
附 則

本法ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前公布セラレタル法律ノ権太施

行ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル其ノ全部  
又ハ一部ノ改正法律ニシテ本法施行後公  
布セラルモノニ付亦同ジ

#### 參 照

明治四十年法律第二十五號ハ権太ニ施

行スヘキ法令ニ關スル法律ナリ

大正九年法律第五十三號中改正法律案  
勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス  
昭和十八年一月十八日

内閣總理大臣 東條 英機

大藏大臣 賀屋 興宣

内務大臣 湯澤三千男

大正九年法律第五十三號中改正法律案  
大正九年法律第五十三號中改正法律案  
第六條中「平安北道義州郡水口鎮ヨリ咸

鏡北道豆満江口ニ至ル陸接國境ニ於テハ  
前條ノヲ「前條ノ陸接國境ニ於テハ同條  
ノ」ニ改ム

#### 參 照

大正九年法律第五十三號ハ關稅法關稅  
定率法及保稅倉庫法等ノ朝鮮ニ於ケル  
特例ニ關スル法律ナリ

〔國務大臣湯澤三千男君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(湯澤三千男君) 只今一括上程  
セラレマシタ日滿地方稅徵收事務共助法  
案明治四十年法律第二十五號廢止法律案  
及大正九年法律第五十三號中改正法律案  
三法律案ニ付キマシテソレバ提案ノ理  
由ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス先ヅ日  
滿地方稅徵收事務共助法案ニ付テ申上ゲマ  
ス、盟邦滿洲國ノ發展ニ伴ヒマシテ近時、  
日滿兩國間ノ交通ハ益々頻繁トナリ、從ツテ  
納稅義務者ノ移動モ、漸次多キヲ加ヘツ、  
アルノデアリマス、政府ハ曩ニ日滿國稅徵  
收事務共助法ヲ制定致シマシテ、國稅ノ徵  
收ニ付キマシテ、相互便宜ヲ供與スルノ方  
途ヲ講ジタノデアリマスルガ、地方稅ノ徵  
收上ニ於キマシテモ其ノ必要アルニ至リマ  
シタノデ、國稅ノ例ニ倣ヒ、地方稅ノ徵收  
ニ付キマシテ、滿洲國ト相互囑託ヲ爲シ得  
ル途ヲ拓クコト致シマシテ、茲ニ本法律案  
ヲ提出致シマシテ次第アリマス、次ニ明  
治四十年法律第二十五號廢止法律案ニ付キ  
マシテ申上ゲマス、内外地行政ノ一元化ヲ  
圖ルガ爲、本年四月以降、権太ヲ内地ニ編  
入スルコトニ相成リマスルニ伴ヒマシテ、  
明治四十年法律第二十五號、権太ニ施行ス  
ベキ法令ニ關スル法律ヲ廢止致シマシテ、

將來制定セラレマスル法律ハ、原則トシテ

當然権太ニモ施行スルコト致シ、法律ノ  
施行關係ヲ速カニ内地ト同様ナラシムル必  
要ガアリマスルガ爲ニ、茲ニ本法律案ヲ提  
出致シマシタ次第アリマス、最後ニ大正

九年法律第五十三號中改正法律案ニ付キマ  
シテ申上ゲマス、日滿陸接國境地域ニ於キ  
マスル經濟開發ヲ促進致シマスルコトハ、

現下生産力擴充計畫遂行上喫緊ノ要務デア  
リマスル處、國境河川ニ跨ル施設ノ建設工  
事用各種物品ハ、鮮滿國境ヲ踰エマシテ頻  
繁ニ運搬セラレマスルノデアリマスルガ、

之ニ關稅法所定ノ手續ヲ執ラシメマスルコ  
トハ、工事ノ進捗上相當大ナル支障ヲ來ス  
コトト相成リマスルガ爲、是等物資ノ輸出入  
ニ對シマシテ、關稅法ノ適用ヲ排除スル必  
要ヲ認メマシテ、茲ニ本法律案ヲ提出致シ  
マシタ次第アリマス、何卒御審議ノ上速  
カニ御協賛アラムコトヲ希望致ス次第ア  
リマス

○子爵戸澤正己君 只今日程ニ上リマシタ  
日滿地方稅徵收事務共助法案外二件ハ、恩  
給法中改正法律案外一件ノ特別委員ニ併託  
セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵梅園篤彦君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議

ニ御異議ゴザイマセスカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス、本日ハ議事ノ都合ニ依リマシテ、

此ノ程度ニ於テ延會致シタイト存ジマス、

御異議ハゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認  
メマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、  
議事日程ハ、決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ  
及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時六分散會